

プログラム 【1日目】2026年2月14日(土)

シンポジウム1

「周産期医療制度改革のインパクト」

8:55~10:25／第1会場（コンベンションホール西）

座長 角倉 弘行（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

S1-1 麻酔科の立場から見た、周産期医療に関連した制度変化

内田 寛治（東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター）

S1-2 少子化社会における無痛分娩

海野 信也（無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）総会議長／北里大学名誉教授・JCHO 相模野病院周産期母子医療センター顧問）

S1-3 助産師の立場から見た制度の課題 — 安全・選択・ケアの三位一体をめざして —

高田 昌代（公益社団法人 日本助産師会）

特別講演

「地域診療所における麻酔科医連携型無痛分娩の10年間の実績と安全性評価」

10:40~11:40／第1会場（コンベンションホール西）

座長 森松 博史（岡山大学学術研究院医歯薬学域 麻酔・蘇生学教室）

演者 三宅 貴仁（三宅医院）

ランチョンセミナー1

共催：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

「成人先天性心疾患の麻酔・周術期管理」

11:55~12:55／第1会場（コンベンションホール西）

座長 森松 博史（岡山大学学術研究院医歯薬学域 麻酔・蘇生学分野）

演者 戸田雄一郎（川崎医科大学 麻酔・集中治療医学）

理事長講演

「安全な無痛分娩体制構築と当学会の関り」

13:05~14:05／第1会場（コンベンションホール西）

座長 山浦 健（九州大学大学院医学研究院 外科学講座 麻酔・蘇生学分野）

演者 藤野 裕士（市立豊中病院）

「ビデオ喉頭鏡が普及した今、妊産婦の気道管理をあらためて考える」

14:15~15:15／第1会場（コンベンションホール西）

座長 山内 正憲（東北大学病院 麻酔科）

演者 木戸 浩司（地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 麻酔・集中治療科）

教育講演1**「東京都による無痛分娩助成事業開始に伴う新しい動き」**

15:20~16:10／第1会場（コンベンションホール西）

座長 吉田 健史（大阪大学大学院医学系研究科 生体統御医学講座 麻酔・集中治療医学教室）

演者 内田篤治郎（東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 心肺統御麻酔学分野）

教育講演2**「世界の中の日本の無痛分娩 日本の麻酔科医はこれからどう取り組むべき」**

16:10~17:00／第1会場（コンベンションホール西）

座長 長坂 安子（東京女子医科大学 麻酔科学分野）

演者 田辺瀬良美（都立多摩総合医療センター麻酔科）

一般演題1**「帝王切開」**

8:55~10:35／第2会場（301会議室）

O1-1 先天性骨形成不全症Ⅲ型合併妊婦の帝王切開手術の麻酔経験

腰原 未沙（杏林大学医学部付属病院 麻酔科学教室）

O1-2 市中病院における超緊急帝王切開術の過去10年の麻酔の検討

佐々木智帆（独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター）

O1-3 帝王切開術中の重症出血に関する後方視的検討

山田 高史（独立行政法人国立病院機構福山医療センター 臨床研修部）

O1-4 フォンタン循環合併妊婦に対する帝王切開術の脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔（CSEA）による管理：一症例報告

松木 華帆（東京大学医学部付属病院 麻酔科・痛みセンター）

O1-5 血管型エーラス・ダンロス症候群合併患者の妊娠管理・帝王切開を行った一例

野田 純希（大阪大学大学院医学系研究科 麻酔集中治療医学教室）

O1-6 血友病保因者の帝王切開の3症例

赤星 純平（九州大学病院 麻酔科蘇生科）

O1-7 脊髄くも膜麻醉下帝王切開術の昇圧薬投与タイミングと用量の検討－自動麻酔記録装置からのデータを用いた後ろ向き解析－

松本 遙香（関西労災病院 麻酔科）

O1-8 リンパ脈管筋腫症 (LAM) 合併妊娠に対する帝王切開麻酔管理の一例

吉井 澄佳 (兵庫医科大学病院麻酔科)

O1-9 COVID-19パンデミック下のCOVID-19陽性妊婦の帝王切開：単施設報告

西本 れい (国立病院機構 福山医療センター 麻酔科)

O1-10 当院における蘇生的帝王切開：4例のケースシリーズ

島田 侑弥 (岡山大学病院 集中治療部)

ランチョンセミナー2

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 (エドワーズライフサイエンス合同会社 旧クリティカルケア事業部)

「安全な周産期管理のために何ができるか無侵襲連続血圧測定 (VitaWave) の活用」

11:55~12:55／第2会場 (301会議室)

座長 犬谷 伸享 (兵庫医科大学 麻酔科学講座)

高知県と高知大学が連携した無痛分娩体制の構築

— 公的支援による産科麻酔基盤の創生 —

演者 河野 崇 (高知大学医学部 麻酔科学・集中治療医学講座)

周産期領域でのVitaWave™ Finger Cuff 使用経験

演者 淀川 祐紀 (高知大学医学部 産科麻酔科学講座)

一般演題2

「周産期麻酔関連」

13:05~14:05／第2会場 (301会議室)

O2-1 妊婦経過中に特発性低髓液圧症候群を発症した患者の帝王切開

柿沼 孝泰 (東京医科大学麻酔科学分野)

O2-2 帝王切開のための脊髄くも膜下麻酔が無効であった患者の術後MRIで神経根囊腫 (Tarlov cyst) が認められた一例

古澤 亜紀 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科)

O2-3 長時間のEXIT (ex-utero intrapartum treatment) を成し得た2症例の麻酔経験

岡野侑紀子 (大阪母子医療センター 麻酔科)

O2-4 外回転術後早期の緊急帝王切開に対し、短時間で2回の脊髄くも膜下麻酔を施行した1例

君塚 基修 (札幌医科大学麻酔科学講座)

O2-5 閉塞性肥大型心筋症および全前置胎盤合併妊娠における緊急帝王切開の経験

稻垣 優子 (京都第一赤十字病院)

O2-6 左室駆出率15%の緊急帝王切開をLow-dose combined spinal-epidural anesthesiaにて管理し得た症例

松本 美穂 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科)

シンポジウム2

「チームで取り組む無痛分娩」

15:20~16:50／第2会場（301会議室）

座長 金澤 伴幸（岡山大学病院 麻酔科蘇生科）

岡田 尚子（順天堂大学医学部附属順天堂医院 麻酔科・ペインクリニック）

S2-1 “呼ばれる存在”から“ともにいる存在”へ— 助産師と築く麻酔科医常駐型チーム医療

山崎 ゆか（医療法人社団 中部産婦人科医院）

S2-2 麻酔科介入による無痛分娩提供体制の変化と分娩指標への影響：実施率と関連アウトカムの検討

武田 亮（亀田総合病院 高度臨床専門職センター）

S2-3 「関節型 Ehlers-Danlos 症候群を疑った妊婦の無痛分娩管理 — 周麻酔期看護師の初期観察を契機とした多職種連携の一例 —」

鈴木 祐華（聖路加国際病院 麻酔科）

S2-4 地方の周産期センターにおける無痛分娩への取り組みと今後の展望

杉井 裕和（国立病院機構岩国医療センター 産婦人科）

プログラム
【2日目】2026年2月15日(日)

シンポジウム3

「地域と専門性 — 若手麻酔科医が語るこれからの周産期麻酔」

9:00~10:30／第1会場（コンベンションホール西）

座長：佐藤 正規（国立成育医療研究センター 手術・集中治療部 成人麻酔科／周産期・母性診療センター 産科麻酔科）
松岡 勇斗（岡山大学病院 集中治療部）

S3-1 島根大学医学部附属病院における周産期麻酔の現状と課題、そして展望

宇賀田 圭（島根大学医学部 麻酔科学教室）

S3-2 小児集中治療医の周産期医療への関わり

西田 圭佑（国立循環器病研究センター 集中治療科）

S3-3 若手麻酔科医が活躍できる産科麻酔体制の構築：聖路加国際病院での取り組み

坂野 彩（聖路加国際病院）

招請講演

「産科麻酔の本邦の現状と北米を中心とした世界との比較」

10:40~11:40／第1会場（コンベンションホール西）

座長 上山 博史（関西ろうさい病院 麻酔科）
演者 安藤 一雄（スタンフォード大学麻酔科）

ランチョンセミナー3

共催：丸石製薬株式会社

「周産期医療」におけるアナフィラキシー」

11:55~12:55／第1会場（コンベンションホール西）

座長 吉田 健史（大阪大学大学院医学系研究科 麻酔・集中治療医学教室）
手術室におけるアナフィラキシー：周産期を含めた最新の知見と対策
演者 高澤 知規（富山大学医学部 麻酔科学講座）

教育講演3

「新生児の呼吸・循環生理学と周術期管理」

13:35~14:25／第1会場（コンベンションホール西）

座長 山内 正憲（東北大学 麻酔科学・周術期医学分野）
演者 橘 一也（大阪母子医療センター）

優秀演題賞セッション

14:40~15:40／第1会場（コンベンションホール西）

座長 岩崎 達雄（岡山大学学術研究院 医療開発領域 小児麻酔科）
清水 一好（岡山大学学術研究院 医療開発領域 集中治療部）

BPA-1 脊髄くも膜下麻酔での帝王切開術における気道管理—観察研究

上原 健司（岩国医療センター 麻酔科）

BPA-2 無痛分娩から帝王切開移行時の母体静脈血及び臍帯静脈血のロピバカインとフェンタニル濃度と出生児への影響について

伊集院亜梨紗（国立成育医療研究センター 手術・集中治療部麻酔科）

BPA-3 無痛分娩から帝王切開に移行した症例における絨毛膜羊膜炎と麻酔転換失敗の関連：後方視的研究

片倉 友美（聖路加国際病院麻酔科）

BPA-4 硬膜外無痛分娩における導入時成功に関する因子の検討

葉畑 綾香（大阪母子医療センター 麻酔科）

BPA-5 産科危機的出血に至った分娩症例の背景因子と治療介入についての検討：多施設共同後ろ向き観察研究

渋井 愛子（東北大学病院麻酔科）

BPA-6 帝王切開術におけるフェンタニルiv-PCAの必要性についての検討：中間報告

宮阪 牧子（独立行政法人国立病院機構福山医療センター 麻酔科）

一般演題3

「無痛分娩」

8:50~10:30／第2会場（301会議室）

O3-1 2椎間法の脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔後のMRIで硬膜外くも膜囊腫を認めた一例

鈴木 茅衣（横浜市立大学附属市民総合医療センター麻酔科）

O3-2 免疫学的アプローチを用いた妊娠合併症に対する免疫調整療法の探索と麻酔学的展望

佐藤 正規（国立成育医療研究センター 手術・集中治療部麻酔科／Stanford University Department of Anesthesiology, Perioperative and Pain Medicine）

O3-3 当院における帝王切開後の経腔分娩（TOLAC）希望妊婦に対する無痛分娩施行状況調査

林田はるえ（大阪母子医療センター麻酔科）

O3-4 Rastelli術後の妊婦に硬膜外麻酔分娩から緊急帝王切開術に移行した1例

関根 智宏（東北大学大学院医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野）

O3-5 くも膜下フェンタニルのみを用いたCSEAがその後のTopUp回数に及ぼす影響

井上 美鳳（医療法人財団今井会 足立病院 麻酔科）

O3-6 無痛分娩を“続けられるかたち”で提供するために：地域基幹病院における計画分娩の活用

中郷あゆみ（江別市立病院 麻酔科）

O3-7 無痛分娩での分娩直後にてんかん発作をきたした一例

佐々木那央（札幌医科大学 麻酔科学講座）

O3-8 人工妊娠中絶における頸管拡張期からの無痛分娩導入を実施した2症例

佐々木麻耶（亀田総合病院 高度臨床専門職センター）

- 3-9 硬膜外無痛分娩からの緊急帝王切開
-脊麻の失敗例から硬膜外麻酔へ麻酔方法をかえてきた2年間-
坂本 聖子(福岡山王病院 麻酔科)
- 3-10 当院における無痛分娩導入の取り組みと初期運用の実際
滝本 佳予(市立豊中病院 麻酔科)

ランチョンセミナー4

共催: ウィーメックス株式会社

「遠隔診療システムを用いた安全な無痛分娩体制の構築」

11:55~12:55／第2会場(301会議室)

- 座長 森松 博史(岡山大学学術研究院医歯薬学域 麻酔・蘇生学分野)
演者 金澤 伴幸(岡山大学学術研究院 医療開発領域 小児麻酔科)

一般演題4

「周産期母体管理」

13:35~14:25／第2会場(301会議室)

- 4-1 Rh(D)陰性妊婦の出血時における当院での輸血対応
本庄 郁子(姫路赤十字病院)
- 4-2 妊娠13週妊婦の喘息大発作で胎児への影響に配慮しながらの投薬を行った1症例
石川 友規(岡山赤十字病院麻酔科)
- 4-3 妊娠高血圧腎症合併多胎妊娠で帝王切開後に痙攣とコントロール不良の分娩後出血をきたし、動脈塞栓術を行い救命した症例
古畑 真有(兵庫医科大学 麻酔科学講座)
- 4-4 硬膜外無痛分娩を回避し、脊髄くも膜下麻酔下に帝王切開を施行したCharcot-Marie-Tooth病合併妊婦の1例
鈴木 努(大阪母子医療センター)
- 4-5 オピオイド内服妊婦に対する帝王切開の麻酔管理
溝口 水季(日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野)
- 4-6 出生直後に手術が必要な胎児心疾患の予定帝王切開におけるチーム医療
名和由布子(北海道立子ども総合医療・療育センター)